

2017年10月4日

トヨタホーム株式会社

戸建商品「ESPACiO Mezzo」が 2017 年度グッドデザイン賞を受賞

「プライバシーを守りながらも開放的な質の高い住宅」と評価

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1丁目23番22号、取締役社長 山科忠）の鉄骨軸組工法戸建商品「[ESPACiO Mezzo（エスパシオ メッツォ）](#)」が、2017年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

Mezzoは2005年に発売以来、都市型住宅として幅広い支持をいただいております。都市に住むことを前提に建物外壁が外塀を兼ね、防犯性を高めると同時にプライバシーも守る一方で、光と風をふんだんに取り込んだオープンなプランニングが可能となっております。

今回はこうした従来からの特徴に加え、①狭小化対策 ②高齢化対策 ③省/創エネ対策一の三つの課題への対策を用意することで審査委員から「プライバシーを守りながらも開放的な質の高い住宅が実現されている」との評価をいただきました。



GOOD DESIGN
AWARD 2017

「ESPACiO Mezzo」



トヨタホームは商品や新しい住まいの提案などを通して「建てる時の安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60年長期保証制度※などで生涯サポートします。

※トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。

「ESPACiO Mezzo」の特徴

<1> 狭小化対策 : 高密度化する都市への回答



GOOD
DESIGN
AWARD
2017

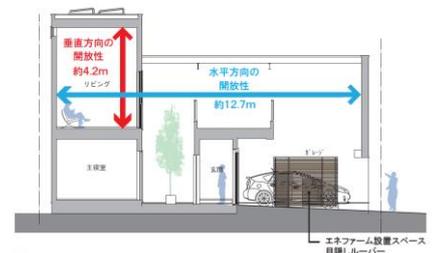
① 収納力向上

天井高 1.4m以下、階・床面積対象外の大収納を実現。
・収納率が約3倍に増加(2005年コンセプトプラン対比 7.6%→26.2%)



② 居住空間の質向上

閉鎖的になりがちな都市居住空間を
水平・垂直方向に拡大。
・垂直方向:リビング天井高 約4.2m
・水平方向:リビング+外部吹き抜け 約12.7m



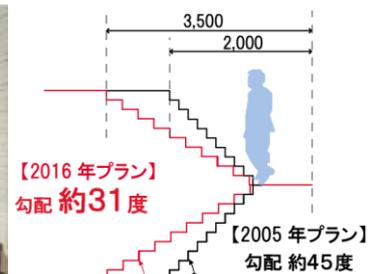
<2> 高齢化対策 : 日本が直面する社会問題への回答

① 安全性向上

超緩勾配階段(勾配 約31度)で家庭内事故の重篤化を抑制

② 4次元設計(TASP)

新築時にあらかじめ加齢による身体機能の変化を予想し、
構造に配慮したプランニングで大改修を伴わず間取り変更が可能。
【例】 [新築時]超緩勾配階段 ⇒ [将来]EV+一般的な勾配階段
※TASP:心身ともにアクティブに暮らせる住まいの提案(2014年度グッドデザイン受賞)



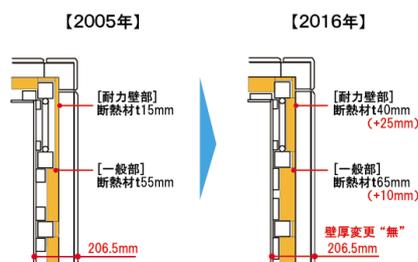
「超緩勾配階段」

<3> 省/創エネ対策 : 都市住宅でのゼロ・エネルギー・ハウス対応

① 高断熱化

大開口を確保しながら U_A 値「0.6」の断熱性能を実現。

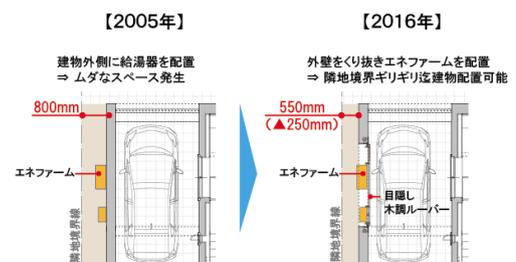
壁下地納まり改良で断熱材設置スペースを確保
壁厚寸法を変えずに高断熱化を実現



② エネファームの省スペース設置

隣地境界線から外壁までの必要寸法を短縮。

エネファームの設置、メンテナンススペースを最小限確保し、建物内に計画
隣地境界線~外壁迄の必要寸法を短縮(800→550mm)し、隣地境界
ギリギリまで建物配置可能に



③ 太陽光パネルの最大限設置

都市型住宅で発電量 4.84kw を確保



以上